

# ふれあい夏まつり



8月24日(月)17:30~

普賢寺ふれあいの駅にて

17:30~ すいか割り

18:00~ カラオケ大会

19:00~ **小宮京子歌謡ショー**



金魚すくい おにぎり かき氷 焼きそば  
焼きとり そうめん 生ビール 当てもの

ふれあいしんぶん

発行所

普賢寺  
ふれあいの駅  
責任者 山下 明子  
電話62-4250  
京田辺市普賢寺小田垣62

## 農カフェ

毎週火曜日開店

第1・3火曜日  
本くず使用のあんわらび餅

第2・4火曜日  
本くず使用くず餅

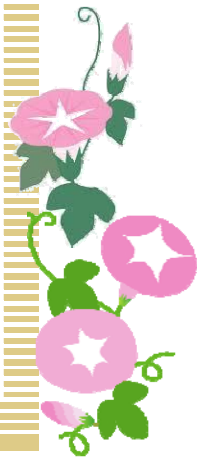
各1個 100円

## お盆の小菊の予約

小菊1本 80円~  
8月5日(水)まで

## ふれあい夏まつり

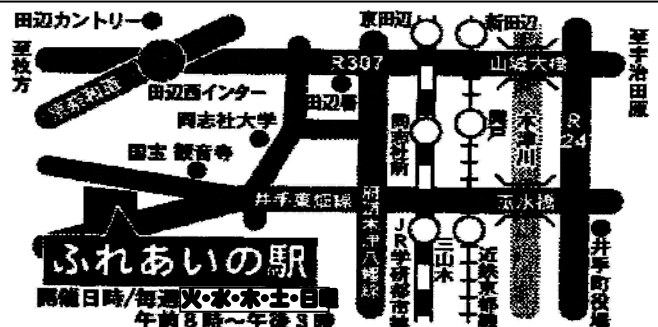
カラオケ参加者募集  
当日参加もOK!!



プラスチックのリサイクルで  
資源再開発に貢献しています。

### 藤林化学工業株式会社

〒610-0323 京都府京田辺市水取地蔵跡4の2  
TEL0774-65-0180 FAX0774-65-0168



今年七月は雨の日が多く梅雨本番となり夏野菜作りが遅れて心配しています。子供達が楽しみにしている夏休みに入つた七月二十三日には大暑の日。一年で一番暑いと言われています。日が雨の一日となり米作り農家には最悪の日となりました。昔の言い伝えによりまずこの日が雨か曇りなら、曇り千石と言つて地域でお米千石が不作になるといいます。山豊年里不作という言い伝えがあります。山豊年とは柿、栗、みかんなど山で作れる作物が豊作で、里不作は水田で作られる水稲、お茶などが不作になると言われています。本年は農家にとっては大変な年になりそうでありま。旧暦での四月と五月の異常気象もようやく元の気象の流れに戻つたようです。

立秋は八月八日です。秋立つと言つても暦の上でのこと、この頃から涼風が立つと言われ

### 8月の暦

ていますが、まだまだ暑い日が続きます。春分には春を待つ心、秋分には秋を待つ心なのです。立夏以降の暑さは、残暑といえます。

十六日は大文字の火。陰暦七月十六日（現在は八月十六日）の夜、京都如意ヶ岳の西の中腹で大の字に焚く篝火（かがりび）、同時刻に左大文字など京都周辺の山々でも焚がわる起源は盆の送り火である。処暑は二十三日です。処とは「暑さも止まる」という意味だとされていますが、暑さはまだまだ収まりません。しかし盛夏の頃と比べると朝晩は少しずつ涼しくなつてきます。秋の虫の声も聞かれるようになりま。この頃からは台風の特異日とされています。二百十日は九月一日です。立春から二百十日になります。稲の開花時期です。しかし今年度は竹の生長などから見れば風は少なく雨の多い年の

### 旬の野菜

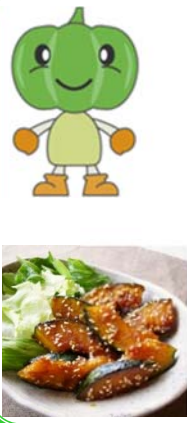
#### フライパンで！ 簡単かぼちやの甘辛焼き

(3~4人分)

- かぼちや …… 1/3
- ☆しょうゆ …… 大さじ2
- ☆砂糖 …… 大さじ2
- ☆酢 …… 大さじ1
- ☆ごま …… たっぷり
- ①かぼちやは0.5~1cm幅の食べやすい大きさにカット。

- ※フライパンに広げられる量
- ②多めの油を引き、裏表軽く焦げ目が付くまで焼く。
- ③☆を入れ、タレを絡める。

仕上げにごまを振る。  
※焦げやすいので注意。



ようです。

秋野菜作りに頑張ってください。八月の種まきの吉日は八月一日、十六日、二十八日の三日間です。 山下壽一

<b>加工部からのお知らせ</b>	<b>日曜日</b>	* おもち * 炊き込みごはん * ふれあいちらし * 赤飯
	<b>火曜日</b>	* おもち
	<b>水曜日</b>	* おもち
	<b>木曜日</b>	* おもち * 炊き込みごはん * いなり寿し
	<b>土曜日</b>	* おもち * 炊き込みごはん * いなり寿し

ふれあい新聞持参で、  
**かき氷のアイス増量!**

※アイスクリームは、抹茶かほうじ茶を濃くいただきます!  
※4名様までご利用いただけます。  
※8月31日まで有効。  
※かき氷のみのサービスとなり、種類は問いません。  
※他のサービスとの併用はできません。

舞妓の茶直宮喫茶店「**MAIKO茶ブティック**」にて好評販売中  
京田辺市田辺中央5-1-7 アルプラザ東隣 TEL: 0774-68-2472 火曜定休  
※かき氷のご提供は、11:30-18:00となります。